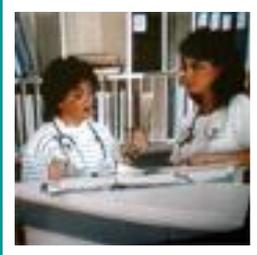


看護診断 DVD シリーズ 〈全 8 巻〉

Nursing Diagnosis



日本語版／バイリンガル版

価格：各巻 52,800 円（本体価格 48,000 円）

日本語版監修： 第 1 巻 東京都立医療技術短期大学看護学科 助教授 大西和子
第 2～8 巻 慶應義塾看護短期大学 教授 藤村龍子

〈監修のことば〉

このシリーズは「北米看護診断分類学会」の考え方をもとに、「看護過程」の構成要素である、アセスメントー看護診断（定義・定義の特徴・診断の表示）ー患者目標（期待される結果）を中心に、臨床看護の実践に活用できるよう制作されています。

看護師の判断力、問題解決能力が求められる昨今、教育課程はもとより、卒後においても大いに有用な教材です。

1 概念と実践（28 分）

Concepts and Practice

看護過程の中で最も重要な事項の一つである看護診断には、医学診断と異なり看護師が考えるべき 11 項目の健康パターンがある。これらを具体的に解説しながら客観的および主観的な情報収集と看護診断の実際をわかりやすく示し、看護診断の適切な使用と看護活動の方向性を示す。

2 総論（22 分）

Nursing Diagnosis in the Acute Care Hospital: Arriving at a Diagnosis

看護診断に関するこの基礎プログラムでは、看護過程が慎重に紹介されている。救急病院の設定で、看護師が患者の望ましい結果や救助方法についてディスカッションする。この教材では、自動車事故で大腿骨折し入院した 10 歳の患児、およびレスピレーター装着の高齢患者の看護で生じる問題の解決や看護計画を取り上げる。

3 身体可動性の障害（15 分）

Common Problems: Impaired Physical Mobility

長期に渡る安静のための身体に不調や筋肉の低下、筋萎縮を生じた男性成人入院患者のケーススタディを通じて、身体可動性障害を定義する。このプログラムでは、身体可動性の障害、患者の望ましい結果、個別の援助方法などに焦点を当て、救急施設と長期治療施設で起こる看護の問題の相互関係を説明する。

4 栄養の変化—過剰摂取（15分）

Common Problems: Alternation in Nutrition: More than Body Requirement

心臓に障害のある肥満中年男性のケーススタディを通じて肥満に関する視聴者の関心を惹起し肥満を科学的に定義、その特徴を明らかにする。看護師が症例に関係する様々な要因をディスカッションし、結果や適切な援助方法を検討する。

5 安楽の変調—急性の疼痛（15分）

Common Problems: Alternation in Comfort: Acute Pain

腰椎部狭窄の手術を受けた高齢女性患者の症例についてディスカッションする。術後1週間で腰痛が改善しつつある状態について、看護診断の定義、患者の望ましい結果、援助方法などを含む看護診断や看護計画を説明する。

6 皮膚の統合性障害（15分）

Common Problems: Impairment of Skin Integrity

十二指腸の穿孔に伴って感染症を合併、排膿により皮膚障害を起こした中年男性患者の症例を検討する。特性の定義、患者の望ましい結果、援助方法が学生や看護師による包括的な検討に向くよう構成されている。図表を使用していることで内容がわかりやすい。

7 セルフケア能力の障害（15分）

Common Problems: Self-Care Deficit

視聴者が他のセルフケアの問題を処理する上で活用できるよう、非常に明確に構成されている。このプログラムではインフルエンザと慢性変形性関節症が原因で脱水症状をおこし入院した高齢女性患者のセルフケア能力の障害を取り上げる。患者のセルフケア能力の障害は入浴や排泄などに顕著に現われており、インフルエンザにより活力が低下、変形関節症により運動機能が低下していることがわかる。患者に現実的な目標を決めさせ、その目標を達成させるよう、看護師がいかに患者を援助することができるかを説明している。

8 知識の不足（15分）

Common Problems: Knowledge Deficit

リンパ腫と診断された70歳の女性患者の症例を検討する。患者の知識の不足、情報の不確かさ、処置の不適切さ、薬剤の自己管理に助けを必要とする、などの特性を示している。この教材ではまだ経験の浅い看護師がベテランの看護師と指導過程や望ましい結果を達成するための段階的な再評価についてディスカッションする。看護過程にもとづく看護が、長期及び短期の現実的な看護目標の達成や患者の早い回復にいかん役立っているかを非常にうまく描写している。

<https://www.hesco-online.jp/catalog/>

Email: catalog@hesco.co.jp

HESCO
Health Sciences Communications

総発売元 株式会社ヘスコインターナショナル
〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-13-7 TEL.03(3341)8890 FAX.03(3341)8837